

報道関係者各位

2026年2月17日
特定医療法人南山会

「良いケアを考える会」が開催されました ～精神科病院としての“良いケア”を問い、日本一の実践を目指す～

特定医療法人南山会峡西病院（所在地：南アルプス市、院長：川崎洋介、以下「当院」）は、「その人らしさをともに創造する」をビジョンに掲げ、精神医療および認知症医療を提供しております。

当院院長の川崎洋介が会長を務める山梨県精神科病院協会は、精神科医療における「良いケアのあり方」を改めて考え、実践につなげることを目的に、令和8年2月13日にアピオ甲府（山梨県甲府市）にて「良いケアを考える会」を開催いたしました。



峡西病院長・山梨県精神科病院協会会長 川崎洋介

18:55 opening remarks	山梨県精神科病院協会	会長 川崎 洋介 先生
総合 座長	特定医療法人南山会 峡西病院	理事長・院長 川崎 洋介 先生
19:00 特別 講演	『病院でも身体拘束ゼロは実現できる』 医療法人社団元気会 横浜病院	理事長・院長 北島 明佳 先生
19:45 特別 講演	『睡眠薬と自動車運転 一律運転禁止から適切な注意喚起へ』 名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 発育・加齢医学	准教授 岩本 邦弘 先生

■ 開催の背景

近年、医療の現場では、病気や症状の治療だけでなく、「人としての尊厳を大切にし、その人らしい人生を支える医療とケア」の重要性が、社会的にも強く認識されるようになってきました。こうした流れの中で、昨年、全国の医療機関が診療科や地域を超えて集い、治療とケアの調和を大切にする「ケアする病院ネットワーク」という団体が立ち上げられました。

このネットワークでは、身体拘束に頼らないケア、多職種連携、患者本人の声を尊重した医療など、各医療機関が現場で積み重ねてきた実践を共有し、全国的な学びの輪が広がりつつあります。

■ 精神科病院が直面する固有の課題

一方で、精神科病院には、非自発入院、隔離や身体拘束、社会的入院、スティグマ（偏見）といった、他の診療科とは異なる特有の課題があります。そのため、全国的な取り組みを踏まえつつも、「精神科病院としての良いケアとは何か」を、現場の実情に即して深く考えていくことが不可欠です。

■ 本会の目的

本会は、こうした問題意識のもと、山梨県精神科病院協会が主催し、県内の精神科病院が一堂に会して、精神医療における「良いケア」について共に考え、学び合う場として開催されました。

患者の尊厳を大切にした医療、身体拘束の最小化、多職種連携による支援などをテーマに、講演や意見交換を通じて、各病院の実践や課題を共有し、明日からの医療・ケアに生かせる知見を深めることを目指しております。

■ 今後に向けて

本会を契機として、山梨県内の精神科病院が連携を強め、互いに学び合いながら、「日本一良いケアを実践する地域・山梨」を目指して取り組みを進めてまいります。

■ 会社概要

- 【社名】 特定医療法人南山会
- 【設立】 1957 年 7 月 2 日
- 【代表】 理事長 川崎 洋介
- 【住所】 〒400-0405 山梨県南アルプス市下宮地 421
- 【事業内容】
精神科病院 峡西病院
障害者地域活動支援センター きがる館
訪問看護事業所 アルプス訪問看護ステーション
介護老人保健施設 峡西老人保健センター
就労継続支援 B 型事業所 アルプスファーム
- 【URL】 <https://www.nan-zan.or.jp/>

<お問い合わせ先>

特定医療法人南山会

TEL : 055-282-2151 (代表) 055-244-7120 (直通) FAX : 055-284-4886

担当 : 川口 (内線 : 619)